

減002クラブ

2023
NO.22

第5期目の福岡県地球温暖化防止活動推進センターの指定を受けました！

一般財団法人九州環境管理協会は、地球温暖化対策の推進に関する法律の施行に伴って、福岡県より福岡県地球温暖化防止活動推進センターに指定されて以来、19年間(第1期～第4期)にわたり継続して県センターを運営してまいりました。今年で20年目、第5期スタートの節目の年です。

我が国は、2020年に「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すこと」を宣言し、2021年の気候変動サミットでは、「日本の2030年度の温室効果ガス排出を2013年度から46%削減することを目指す。さらに50%の高みに挑戦を続ける」と表明しました。また、福岡県においても2022年に「福岡県地球温暖化対策実行計画(第2次)」を策定し、目標として2030年度の温室効果ガス排出を2013年度比で46%削減し、2050年度までに温室効果ガス排出の実質ゼロを目指すことが掲げられています。

この地球温暖化対策実行計画を効果的に実施していくため、県センターの役割は益々重要となっており、これからも地域の温暖化防止の拠点として、行政・県民・事業者・環境団体と連携し、気候変動対策に関する普及啓発活動を着実に実施していくことが求められています。

以上のような状況を踏まえ、当協会としては、次のような基本方針で県センター第5期運営に臨みます。

1. 福岡県地球温暖化対策実行計画の目標達成に向けての活動
2. 気候変動対策に係る情報の収集・発信
3. 普及啓発及び効果的実践の支援
4. 次世代へのアプローチ

福岡県地球温暖化防止活動推進センターの取組例

啓発・広報



福岡県環境家計簿

活動支援



出前講座への講師派遣

エコファミリー応援



エコふあみアプリ
啓発チラシ

デコ活(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)

デコ活 くらしの中のエコろがけ

デコ活とは、二酸化炭素(CO2)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む”デコ”と活動・生活を組み合わせた新しい言葉です。『デコ活』で暮らしを彩り豊かに！

国は 2050 年のカーボンニュートラルの実現及び 2030 年度の温室効果ガス排出を 2013 年度から 46% 削減することを目指すため、国民の行動変容、ライフスタイル 転換のうねり・ムーブメントを起こすべく、デコ活(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの実現に向けた国民運動)を推進しています。

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後

太陽光発電
年5.3万円
災害時にも使える

住宅の断熱化
(窓・壁紙・床)
年9.4万円
ヒートショック防止

高効率給湯器
年3.5万円

はかり売り・自動決済
年3時間
好きなものばかりだけ

LED照明
年3千円
年0.4時間

省エネ家電
(冷蔵庫・エアコン・HEMS)
年2.8万円

ごみの削減・分別
年4千円

クールビズ・ウォームビズ
年4千円

地産地消・食べきり
年9千円

節水
(キッチン・洗濯機・シャワー・トイレ)
年1.6万円

テレワーク
年6.1万円
年275時間

サステナブルファッション
年1.2万円

公共交通・自転車
徒歩
年1.2万円

次世代自動車
年7.5万円
自動運転で年323時間
給油不要なら年2時間

凡例：トロフィーガイド
機会がある方は
みんなで

毎月3万6千円浮きます(年43万円) 一日プラス1時間以上を好きなことに(年388時間)

デコ活ウェブサイトでは、脱炭素につながる「将来の暮らしの全体像・絵姿」で示して、節約額や時間のメリットなどを詳しく紹介しているよ！



出典：環境省 HP デコ活
<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/>

デコ活アクション

デ

電気も省エネ
断熱住宅

電気代をおさえる
断熱省エネ住宅に住む

カ

感謝の心
食べ残しゼロ

食品の食べきり
食材の使い切り

ツ

つながる
オフィス
テレワーク

どこでもつながれば、
そこが仕事場に

コ

LED・省エネ家電
選びを選ぶ

どの札から取って
いこうかな
他にもいろいろな
札があるよ！

気候変動について考える

IPCC(気候変動に関する政府間パネル)第58回総会が2023年3月13日から3月20日にかけて開催され、第6次評価報告書(AR6)統合報告書が承認されました。今回は統合報告書の概要及び国の取組を紹介します。

Q どのような内容の報告書なの？

A 気候変動の影響・適応・緩和の現状・見通しなどについて報告されています。

今回の報告書では、『人間活動が主に温室効果ガスの排出を通して地球温暖化を引き起こしてきたことは疑う余地がない』、『継続的な温室効果ガスの排出は更なる地球温暖化をもたらし、短期のうちに1.5℃に達する』との厳しい見通しが示されました。これは、この10年間に全ての部門において急速かつ大幅で、即時の温室効果ガス排出削減の必要性を示すものです。

しかし、今すぐ対策を講じることで、海面水位の上昇、洪水の増加、熱中症の増加など、温暖化に関連したリスクを抑えることが可能であることも示されました。

Q 国の取組は？

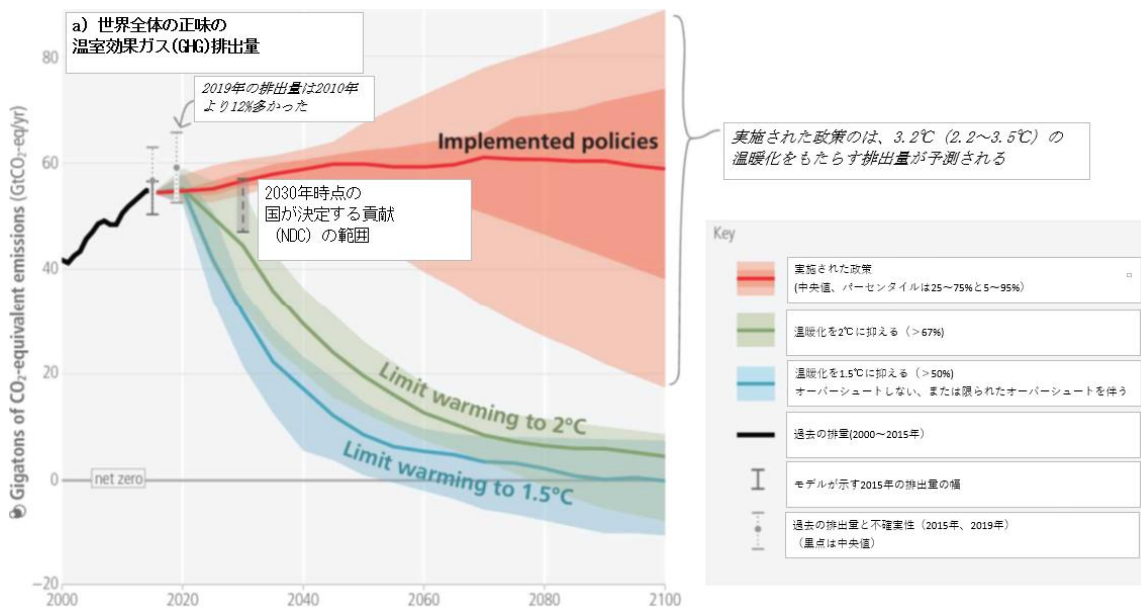
A IPCCの科学的知見を踏まえ、政府は、緩和策・適応策の両面から対策を強化することとしています。

令和5年2月に「GX実現に向けた基本方針」の閣議決定、その後の「GX推進法」・「GX脱炭素電源法」の成立によって、「成長志向型カーボンプライシング構想」等の新たな政策が具体化されました。

これらの政策を実行するため「GX推進法」に基づき、7月には「脱炭素成長型経済構造移行推進戦略」(GX推進戦略)が定められました。

これに基づき、政府として、今後10年間で150兆円を超える官民のGX投資、成長志向型カーボンプライシングの導入を実現することで、2050年カーボンニュートラルと産業競争力強化・経済成長の同時実現を目指すこととしています。

さらに、地域脱炭素の推進、住宅の断熱改修支援等、需要側からの取組を進めるとともに、新しい国民運動を通じて脱炭素で豊かな暮らしへのライフスタイル変革を促しています。また、熱中症による健康被害を軽減するため、これまでより一段上の「熱中症特別警戒情報」の導入等を盛り込んだ気候変動適応法等が成立し、熱中症対策を抜本的に強化しています。



出典:環境省 IPCC 第6次評価報告書 統合報告書の概要、第6次評価報告書に関する環境大臣談話(R5.3.20)



第10期推進員 知事から委嘱

本年4月25日、福岡県庁において「第10期福岡県地球温暖化防止活動推進員」の委嘱式が行われました。

今期県知事より委嘱された推進員は合計93名で、任期は令和7年3月31日までの2年間となります。

推進員には、地域における温暖化対策を推進するリーダーとして資質の向上に努め、自ら日常生活において温暖化防止活動を実践するとともに、福岡県、市町村、県センターと連携して、一般家庭や事業所、学校などで環境家計簿の普及、学習会の開催等、温暖化対策に係る様々な啓発活動が期待されています。

各地域の推進員委嘱状況

地域名	推進員数
北九州・京築	22名
福岡・筑紫	13名
宗像・遠賀	15名
筑豊	24名
久留米・北筑後	10名
大牟田・南筑後	9名

中小規模事業所向け省エネ手引書を作成

「中小規模事業所向け省エネ手引書」を昨年度、中小規模事業者支援の一環で作成しました。本書は大きく基礎情報編、技術編、支援編の3編で構成されています。

- 基礎情報編では、何故企業は省エネに取り組まなければならないのか、企業にとってメリットがあるのか簡潔に記載しています。
- 技術編では自社のエネルギー使用量を把握する初歩的などころから、省エネ計画の進め方、主要な設備の具体的な対策、実施例を紹介しています。
- 支援編では、専門家からのアドバイスが得られる省エネ診断事業、省エネ補助金制度、福岡県の融資制度について紹介しています。

- また、本書は事業者の省エネルギーの取組のレベルに応じて、初級、中級、上級とステップアップできるように構成しており、本文には適宜コラムを配置して、基礎技術情報について分かりやすく解説しています。



大学生による環境保護活動

福岡工業大学で環境イベント、ボランティアに参加している環境ボランティアサークルの「エコ FIT」の活動報告です。

今年の3月にエコ FIT の主催で、海の中道海浜公園の潮見台を使って、ゴミ拾いとワークショップを行い、約100組の方々が参加されました。

最初に、エコ FIT と参加者が一緒に砂浜でゴミ拾いを行い、そこから潮見台に移動し、海洋ゴミを使ったボールペンキットを使用してワークショップを行いました。このワークショップは「一般社団法人くらげれんごう」さんに協力していただきました。

ボールペンに使う海洋ゴミを楽しそうに選ぶ子どもたち、その姿を楽しそうに見守る保護者の方々、可愛く完成させたボールペンを誇らしげに示す参加者の皆さんの笑顔を見ることが出来て開催してよかったと思いました。

またエコ FIT の主催でイベントを開催したいと考えています。



ワークショップの様子



作成したボールペン

